綾部市が目指す小中一貫教育

綾部市では、義務教育９年間を一つのサイクルとしてとらえ、特色ある小中一貫教育を推進するため、綾部市小中一貫教育基本構想「あい紡ぎプラン」に基づき、義務教育のとらえ方や目指す学校の姿など基本となるところを示しています。小中一貫教育を実践する基盤には、**綾部市の「あい」のある学習**があります。その授業づくりでは、授業の本質を求め、授業で「学び手」（児童）を育てることを大切にしています。そして、「学び手」と教師がともに成長することを目的としています。

小５、小６、中１の学びをつなぐ

算数科
- 疑問や問いの気付き
- 問題の設定
- 問題の解決、解決の計画
- 解決の実行
- 解決したことの検討
- 解決過程や結果の振り返り
- 新たな疑問や問いの気付き

小学校（幼稚園）

①カリキュラムで
②感動算数で
③授業形態で
④授業方法で
⑤学びの基盤で

中学校

数学科
- 疑問や問いの発生
- 問題の設定
- 問題の解決、解決の計画
- 計画の実行、結果の検討
- 解決過程や結果の振り返り
- 新たな疑問や問い、推測などの発生

主体的な「学び手」を育てる

音声トレーニング

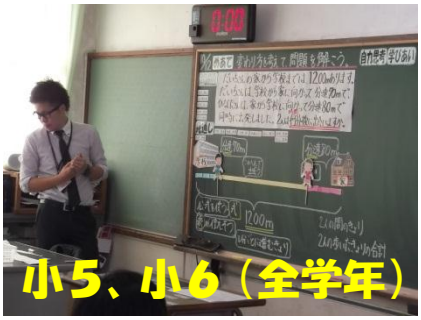
授業の始めに互いに声を出して、学習内容の確認等をします。

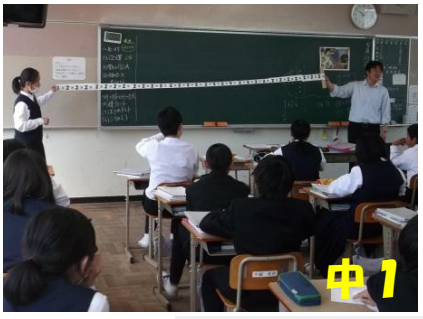
小５、小６

中１

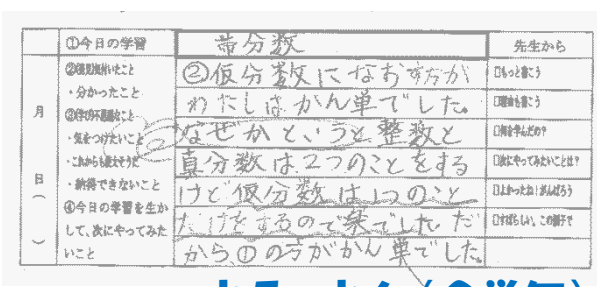
見通し

導入では、意欲をたかめるための演出や問題把握から見通しを持たせる工夫をします。

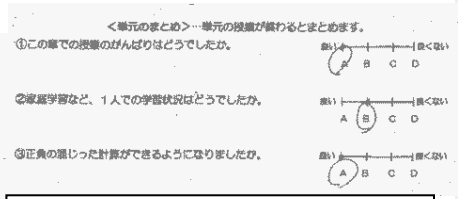

小５、小６（全学年）


中１

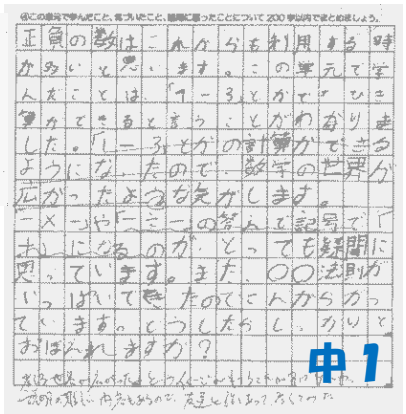
振り返り



小５、小６（全学年）



１時間ごとや単元を終えての振り返りを書くことで、学習内容の確認・整理に加え、メタ認知の育成も目指します。


中１